

対パプアニューギニア独立国 事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	社会・経済基盤の強化を通じた「質の高い成長」の実現と国民の生活水準の向上
---------------	--------------------------------------

重点分野 1 (中目標)	経済成長基盤の強化											
	【現状と課題】					【開発課題への対応方針】						
	パプアニューギニア（以下「PNG」という。）国内では離島や山間部が多く、運輸・交通インフラ、基礎インフラ（電力・エネルギー、水等）が未整備なことに加え、地方部における伝統的な部族間競争及び都市部における人口増加に伴う雇用不足等を原因とする治安悪化により、社会サービスへのアクセスが妨げられ、所得向上の阻害要因となっている。特に運輸インフラの未整備により物資の輸送コストがかかり、物価高の要因となっている。また、既存のインフラも維持管理が良好に行われておらず、頻発する自然災害に対して脆弱である。このため、国民の生活や国内の各産業を下支えするインフラ整備及びその維持管理能力の向上、治安情勢の回復が必要である。					生活基盤・経済活動強化に必須な運輸・交通（橋梁、道路、港、空港等）インフラ及び再生可能エネルギーを含む電力・エネルギー（発電所、送配電等）インフラ整備と維持管理等を通じ持続的経済成長を促進する。また、援助協調の取り組みが進んでおり、他ドナーとの情報交換・共有により、より効率的、効果的なインフラ整備を目指す。さらに、同国の警察機構への支援などを通じて、治安情勢の回復を図るほか、土地登記の促進支援、政府によるガバナンス強化に関する支援等を行う。						
協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
			2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
開発課題 1-1 (小目標) 社会・経済インフラ整備・維持  経済インフラ整備・維持管理プログラム(強化プログラム)	ラム系統送電網強化事業	有償							83.40	7, 9		
	ナザブ空港整備事業	有償							269.42	9, 11		
	ココボ・ラパウルにおけるインフラ開発計画策定プロジェクト	開発計画							3.33	9, 11		
	経済社会開発計画	無償							3.00	9	道路整備分野	
	経済社会開発計画	無償							10.00	16	航行の安全の分野	
	経済社会開発計画	無償							10.00	9	電力分野	
	経済社会開発計画	無償							4.00	9	道路整備分野	
	経済社会開発計画	無償							5.10	7, 9	電力分野	
	経済社会開発計画	無償							3.00	9	空港及び道路整備分野	
	経済社会開発計画	無償							4.00	9	橋梁整備分野	
	経済社会開発計画	無償							1.86	16	航行の安全の分野	
	経済社会開発計画	無償							5.00	16	治安改善分野	
	ブーゲンビルにおける太陽光発電プロジェクト	マルチ								6.19	7, 9	国連開発計画(UNDP)
	道路整備能力強化プロジェクトフェーズ 2	技プロ								3.70	10	

電力系統計画・運用能力向上プロジェクト	技プロ	■■■■						3.29	7, 9	
運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクトフェーズ2	技プロ	■■■■						2.76	9	
公共投資管理	個別専門家	■■■								
公共投資管理プロジェクト	有償附帯プロ		■■■■■							
土地管理情報システム構築・促進プロジェクト	技プロ		■■■■■							
開発計画アドバイザー	個別専門家	■■■■								
電化政策実施促進アドバイザー	個別専門家		■■■■■							
道路アセットマネジメント中核人材育成プログラム	長期研修		■■■■■							
経済インフラ分野の課題別研修	課題別研修他	■■■■								

協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
			2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度				
開発課題 1-2 (小目標) 経済活動の拡大	【現状と課題】 豊富な天然資源による鉱物資源産業が発展している一方で、人口の85%が暮らす地方部では基本的に自給自足の生活が営まれており、また第一次産業が主体で製造業は未発達である。また、交通アクセスが悪い地方部では、農業技術の向上や農産物のマーケットへの販売機会が不十分で住民の生活は厳しい状態のままである。このため、インフラ整備とともに投資促進や企業振興の環境整備、技術人材の育成等による就業機会の創出促進を中心とする経済活動の拡大や社会的安定に係る取組が必要である。		【開発課題への対応方針】 貿易・投資の振興や経済援助の効率化、各種セクターの開発に必要な社会的安定に資する支援を行い、効率的・効果的な開発を促進し、持続的な経済成長を目指す。また、持続的農林水産業の観点も踏まえつつ、農林水産業を始めとした産業・商業の振興による収入拡大等への支援を通じて、国民の大半が暮らす地方における生活基盤を強化する。日系企業の進出を念頭に置いた貿易・投資環境の整備に関する協力では、特にPNGの産業を担う人材の育成、品質管理体制の強化、コミュニティ住民が主体となった参加型開発等を促進する。									
	資源収入管理能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ	■	■	■	■						
	国立水産訓練校施設整備計画協力準備調査	協準	■	■								
	WCO連携 税関能力強化	第三国研修	■									
	WCO連携 税関リスク管理・事後調査	第三国研修		■	■	■	■					
	鯉節製造に関するニーズ確認調査	ニーズ確認調査	■	■								
	零細漁業者のバリューチェーンへの連結による小型船外機船市場創出の普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■							
	食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri Net)	長期研修	■	■	■	■						
	経済活性化・コミュニティ開発分野の課題別研修	課題別研修他	■	■	■							
	観光振興・農業振興分野のボランティア派遣	JOCV	■	■	■	■						
	国際漁業振興協力事業（水産関連施設の修理修復及び技術移転）	農林水産省技協	■	■							9,10,12,14	水産関連施設の修理修復及び技術移転
	国際漁業振興協力事業（定置網漁業に関する試験調査プロジェクト）	農林水産省技協	■	■							4,10,14	定置網漁業に関する試験調査プロジェクト
	国際漁業振興協力事業（沿岸地域水産物有効利用プロジェクト）	農林水産省技協	■	■							4,8,14	沿岸地域水産物有効利用プロジェクト

重点分野2 (中目標)	教育及び保健・医療支援等による社会格差の是正											
開発課題2-1 (小目標) 教育の機能強化・ 人材育成	<b>【現状と課題】</b> 2012年以降の政府による教育無償化政策を足掛かりに就学率は改善傾向にある。一方、就学者数増加に伴い1教室当たりの児童数が急激に増加していることもあり、教育の質にかかる課題は依然として大きい。また、従来成果主義教育から基準達成型教育への転換を行ったものの、新たな方針に沿ったカリキュラムの策定、教材の開発、教員研修、アセスメントの改訂等の取組が急務となっている。また、基礎教育の問題に連結し産業を担う技術人材が極端に不足している。				<b>【開発課題への対応方針】</b> 教育分野については、国家教育計画2020-2029を踏まえ、初等・中等教育の質的の向上と施設の改善をはじめ、その他高等教育の充実及び技術者訓練の強化等への支援を通じ教育機能強化と人材育成を促進する。PNG政府は「全ての生徒に質の高い教育の達成」を目標としており、初等・中等教育に重点を置きつつ、技術者の養成に結びつく協力にも取り組む。また、豪州を中心としたセクターアプローチと協調した支援を検討するとともに、草の根・人間の安全保障無償資金協力等他スキームも活用する。							
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
		国立美術博物館デジタル化機材整備計画	一般文化		■	■	■			0.72		
		経済社会開発計画	無償		■					4.00	4	教育分野
		人材育成奨学計画準備調査	協準		■							
		初等理数教科員養成校強化プロジェクト	技プロ		■	■	■			4.54	4	
		教育政策アドバイザー	個別専門家		■							
		教育政策アドバイザー	個別専門家			■	■	■				
		初等教育向け算数ワークブックを活用した学力向上にかかるビジネス化実証事業	ビジネス化実証事業		■	■						
		JICAチャーム関連活動（PNG）	個別専門家		■							
		SDGsグローバルリーダーコース	長期研修		■	■	■					
	教育分野の課題別研修	課題別研修他		■	■							
	教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■					0.20			
	経済社会開発計画	無償		■					12.00	4	教育分野	
	ブーゲンビルにおける職業訓練施設プロジェクト	マルチ		■					3.00		UNDP	
	教育分野のボランティア派遣	JOCV		■	■	■						

<p>開発課題 2-2 (小目標) 保健医療サービスの向上</p>	<p>【現状と課題】 地方部では保健医療スタッフの不足や施設の老朽化、医薬品や運営予算の不足などにより、医療施設の全部又は一部が閉鎖するなど保健医療サービスが行き届かず予防接種率も低迷しているため、感染症の流行、乳幼児や妊婦の死亡率は依然高い。このため、医療施設・機材の整備、現地医療従事者の充足及び技術力の向上等による保健・医療サービスの向上等の取組が急務となっている。</p>		<p>【開発課題への対応方針】 保健分野については、国家保健計画2021-2030も踏まえ、医療体制の改善、感染症対策、地域保健人材の育成等への支援を通じ健康の維持増進を促進する。ボランティア派遣や機材供与と草の根無償資金協力との連携を図るとともに、医療サービスの質の向上、予防医療に係る知識普及のための研修機会の提供に取り組む。</p>									
	協カプログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
		フィラリア対策プロジェクトフェーズ2	技プロ	■	■	■	■			3.48	3	
		院内感染対策を通じた基礎的医療サービス向上プロジェクト	技プロ	■								
		経済社会開発計画	無償	■						2.50	3	保健・医療分野
		太平洋島嶼国の感染症に関する国境管理能力強化プロジェクト	マルチ	■	■	■				1.26	3	国際移住機関(IOM)
		感染症コントロールのためのデジタル保健システム強化プロジェクト	マルチ	■	■					4.00	3	UNICEF
	保健・医療分野の課題別研修	課題別研修他	■	■								
	保健・医療分野のボランティア派遣	JOCV	■	■	■	■						

重点分野3 (中目標)	環境保護・気候変動対策・防災														
開発課題3-1 (小目標) 環境保全	【現状と課題】 天然資源の開発の進行や都市部への人口の流入により自然環境や生活環境の悪化が懸念されている。特に、環境インフラの未整備から都市部におけるゴミ処理や下水処理対策が立ち遅れている。このため、廃棄物最終処分場の改修・廃棄物の回収効率改善等の強化、下水道の整備等が急務となっている。また、同国は、世界で最も生物多様性を有する地域の一つであるものの、関係者間の連携が弱いこと、政府機関の資金・能力が十分でないことから、生物多様性国家戦略及び行動計画に位置付けられた各種施策の実施が不十分な状況にある。					【開発課題への対応方針】 公衆衛生の改善、生活環境の整備、自然環境の保全等への支援を通じ脆弱な島嶼における循環型社会の形成を促進する。太平洋地域環境計画 (SPREP) によって策定された太平洋地域廃棄物・汚染管理戦略 (Cleaner Pacific 2016-2025) に沿った廃棄物管理改善の一環として、PNGでは首都区 (NCD) 圏内および地方都市の廃棄物管理および鉱業廃棄物行政能力向上を支援する。さらに、保護区管理の国家レベルのガバナンス強化とモデル保護区における地域住民の自然資源の持続的の管理の強化を支援する。これらの支援においては、2022年末に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」を踏まえ、生物多様性保全にも配慮する。									
	協力プログラム名	案件名				スキーム	実施期間					支援額 (億円)	SDGs	備考	
							2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
		大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクトフェーズ3				技プロ								11,12,14	
		島嶼における循環型社会形成支関連研修				課題別研修									
		環境教育分野のボランティア派遣				JOCV									
	自然環境保全プログラム				長期研修										
	資源国の行政・研究人材育成														
	自然環境保全分野の課題別研修				課題別研修										
	6つのパイロット地域でのコミュニティフォレスト管理スキームへの慣習的土地所有者による参加促進プロジェクト				マルチ							0.60百万USD	13,15	国際熱帯木材機関 (ITTO) 連携	
開発課題3-2 (小目標) 気候変動対策・防災対策	【現状と課題】 世界有数の熱帯林を有するものの、近年、小規模農業開発や伐採を原因とする森林減少・劣化が進んでいる。持続的な森林管理を推進するため、JICAの支援により国家森林情報管理システムが整備されたが、森林行政の実務レベルには十分に対応できていない。また、2015年のパリ協定採択を受け、同国を含む途上国も排出削減目標に向けた着実な行動と定期的な報告が求められるようになり、同国の温室効果ガス (GHG) 排出の状況を把握するためのGHGインベントリの安定的な作成及び精度向上に係る能力強化が必要である。このため、気候変動対策のうち、緩和策 (GHGの排出削減・吸収増進等の対策) の取組として、森林・気候変動分野の関係機関の能力強化が急務となっている。また、適応策 (予測される気候変動による被害の回避・軽減を図る対策) として、防災対策についても協力を促進する必要がある。					【開発課題への対応方針】 自然を活用した解決策 (NbS: Nature-based Solutions) の考え方も取り入れつつ、PNGにおける緩和及び適応行動促進のために、森林情報の継続的な更新と国家森林資源情報管理システムの効果的な活用、森林から排出される温室効果ガスのモニタリングに関する能力の向上等、持続的な森林管理の促進に係る能力強化を行う。また、GHGインベントリの定期的な作成・改善能力の強化及び関係機関に対する理解促進を目指す。さらに、気候変動や自然災害に対する脆弱性を抱えている同国に適した、気候変動に耐性のあるインフラ整備等の防災対策に資する案件を引き続き実施する。									
	協力プログラム名	案件名				スキーム	実施期間					支援額 (億円)	SDGs	備考	
							2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
	環境・森林保全プログラム				技プロ								13, 15		
	森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト														
	森林保全・気候変動対策分野の課題別研修				課題別研修										

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス (SDGsビジネス) 調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化無償資金協力」(=草の根文化) (＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「-----」(=実施期間)、「破線「- - - -」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/odasdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/odasdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)